

令和5年度シラバス（国語・古典A）

68 新潟県立高田南城高等学校

定時制課程	単位数	必履修・選択
午前部	2	選択

教科書	学習書・他教材
『標準古典A物語選（第一学習社）』	なし

学習目標
古典や古典に関する文章を読み、我が国の伝統と文化に対する理解を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度を育てる。

学習計画		
学習項目	学習内容	試験範囲 (学習期間)
1 『古今和歌集』 仮字序ほか和歌	1 古文の要ともいべき和歌のことを、昔の日本人がどのようにとらえていたかを学び、和歌にこめられた心を味わう。	前期中間考查
2 『伊勢物語』	2 歌物語を読み、各章段における和歌の役割について考え、話のおもしろさを理解する。それと同時に、登場人物の行動や心情を把握する。	
3 『故事・寓話』	3 漢文の基礎を確認し、書き下し文に改めることができるようにする。それと同時に主語や目的語を補って、文章を読めるようにする。	
4 『十訓抄』 『徒然草』	4 短めの古文をいくつか読み、独特の文体に慣れる。また、当意即妙の機知に触れ、そのおもしろさを味わう。	前期期末考查
5 『三国志の世界』	5 長い文章の漢文に慣れ、訓読上のきまりをより正しく理解し、全体の内容を把握する。	
6 『大鏡』	6 歴史物語の学習を通して時代背景や思想とともに、登場人物の心情を理解する。また、話の構造や展開を的確に把握する。	後期中間考查
7 『漢詩の鑑賞』	7 漢詩の基礎的なきまりごとを理解するとともに、詩にこめられた情景や心情を味わう。	
8 『枕草子』	8 随筆を読み、宮中の雰囲気や人々の生活を想像し、味わう。	後期期末考查
9 『項羽と劉邦』	9 長い文章の漢文に慣れ、訓読上のきまりをより正しく理解し、全体の内容を把握する。	

評価規準と評価方法				
評価は、次の5観点から行う。				
①関心・意欲・態度	②話す・聞く能力	③書く能力	④読む能力	⑤知識・理解
古典を進んで学習し、伝統的な言語文化について理解を深めようとしている。	朗読を通し、古典特有のリズムや表現を味わうことができる。	様々な古典の作品に触れ、自分の考えや感想を深め、文章で表現している。	古典特有の表現を味わい、自然、社会、人間について考察している。	古典を読むために必要な、語句の意味、用法、文の構造、文法、音声、表記等を理解し、知識を身に付けようとしている。

授業の進め方、課題・提出物など
<ul style="list-style-type: none"> ・音読、書き下し文を徹底的に行います。 ・定期考查に、小テストや各作品におけるレポート・ノート提出を加えた評価をします。

担当者からのメッセージ
様々な古典作品を通し、学んでは考え、考えては学び……を繰り返して、自分の物の見方や考え方をどんどん広げいきましょう。